

令和4年度事業報告

1. 航空保安研究センターは、安全かつ効率的な航空交通を実現するための航空保安業務に関する調査研究を行い、その成果を航空保安業務の改善、向上に役立て、航空交通の発展に寄与することを目的としており、この目的を達成するため、次のような事業を行っています。

- (1) 航空交通情報受配信事業
- (2) 飛行コース公開システム関連事業
- (3) 調査研究事業

2. 令和4年度（令和4年5月1日～令和5年4月30日）においては、以下の事業等を行いました。

- (1) 航空交通情報受配信事業
- (2) 飛行コース監視・公開システムの運用等業務（成田国際空港）
- (3) 飛行コース公開システムに係るデータ編集作業（東京国際空港）
- (4) 関西国際空港及び大阪国際空港における空港保安施設の強化に係る検討調査
- (5) 那覇空港における将来的な管制手法に関する調査
- (6) 新たな管制作業負荷計算手法に関する調査
- (7) 西日本空域における高高度＝低高度セクターの境界高度の最適化に関する調査
- (8) 首都圏空港運航実態調査
- (9) 安全情報及び監査情報に関する総合評価要件調査
- (10) 航行不能航空機の撤去に係る調査
- (11) 航空安全プログラムの適用に伴う安全情報（自発報告）分析業務
- (12) ADS-Bによる航空機情報取得に関する調査
- (13) 福岡空港の地上運用実態調査
- (14) 鹿児島空港の飛行経路・地上運用実態調査
- (15) 中部国際空港航空機騒音等監視システムを構成する環境情報公開システムの保守業務
- (16) 令和4年度羽田空港航空機内陸飛行騒音調査に係る航跡確認作業
- (17) 制限空域内の管理に関するシミュレータ実験